

もちろんではありますが全ての授業が英語で行われます。一部のわかりにくいところをタイ人講師がタイ語で説明することはありますが、ほとんど英語です。授業は1クラス週3時間3単位になります。

授業内容や課題は授業によって変わりますが、BBAの授業は基本的に他のどの学部と比べてもハードです。課題の量や試験のレベルが他の学部よりひとまわり上になります。試験は中間試験2時間、期末試験3時間の長丁場になります。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

学内は歩けますが非常に大きいです。私の住んでいた寮から大学の門まで歩くと徒歩30分はかかります。校舎は学部ごとに分かれていて外装は非常にきれいです。中も綺麗ですが冷房が相当強いです。

学内にはジムやプールがあり、無料で利用することができます。図書館もありますがあまり使ったことはないです。他にもAU mallというカフェテリア街や、教会、ビリヤード場などもあります。

私は交換留学生だったので大学の国際センターに行くことが何度かあったのですが、残念なことに別のキャンパスです。タクシーで約1時間かかる Huamak campus というところになりますのでご注意ください。

ビザの更新やキャンセルを行うためのオフィスがありますが、はっきり言うと態度、仕事の質がかなり悪いです…何日もかかる可能性があるためビザ関係の手続きは早めに行いましょう。大学から最寄りの Immigration office は Samutprakan immigration になります。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

英語：補習はおそらくないですが、Basic English, English 1-4 までのクラスが開講されていますのでそちらを受けるといいでしょう。友人から聞いた話ですと English 1, 2 は簡単ときますので3から受講してみるといいかもしれません。私は専門科目を中心に受講していたので取っていませんでした

タイ語：生活する上で最低限覚えておきたいタイ語は Introduction to Thai という授業で習うことができます。他の大学の友人はお金を払ってタイ人の友人からタイ語を習っていました。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

残念ながらあまり多くのことはサポートされていません…基本的には友人から情報を入手したり、ネットで調べたりするしかありません。留学生向けのイベントは用意されていませんが2月か3月に一度大きな祭りが学内に開かれます。そちらに参加してみるのも面白いかもしれませんが、学生は結構日本好きな人が多いのが印象です。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

詳しくは不明ですが運動系の部活に在籍すると奨学金がもらえるそうです。友人の話ではサッカー部に一年在籍し練習に励んだらもらえるとか…

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学周辺には寮と学生のためのレストランくらいしかありませんので街灯は少ないですが基本的に移動するときは車を使うと思うのであまり外にでる機会は少ないと思います。ただ5年ほど前に周辺で放浪者による殺人事件が起きたという話を聞いていますので十分に注意し、深夜はあまり外出しないようにしましょう。大学内はおおむね安全です。

また夜遅くは野犬が吠えたり追いかけてきます。優しい犬もありますが飛びかかってくる犬もいるので注意しましょう。もし吠えたり近づいてきた場合は冷静に歩いてその場を立ち去りましょう。走ったり、叫んだりするのは厳禁です！セブンイレブンの前にもよく犬がいます。その犬は比較のおとなしいので大丈夫です。

あとは治安とは違いかもかもしれませんが蚊に注意です。友人の中国人はデング熱にかかっていました。私はかなり刺されましたが熱などにはかかりませんでした。特別な注射などは受けてはいないです。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

色々な国から正規で留学している人が来ています。中国、ミャンマー、バングラディッシュ、スペイン、アメリカ、ラオス、ベトナム、ブータン、インド…ざっとあげるとこのくらいでしょうか。コートジボアールやセネガルから留学している人もいます。自国の人達同士でコミュニティを持っていることが多いですが、internationalにかかわりを持っている人もいます。

ちなみに日本人はほとんどいません。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮

(2) 家賃

月額（現地通貨）約 5000Baht、（日本円）約 14500-17000 円

(3) 食事

その他（寮が自炊禁止のため、外食のみ）

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 計 10 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

学内の寮(AU Residence)であったため教室は徒歩圏内であり非常に近かったです。授業の合間であっても帰宅することが出来る寮は近くにはなかなか見つからないでしょう。ジムも近くにあり無料で利用することができます。また 15000 円前後の月額も魅力のひとつです。問題点は自炊が禁止で、食事をする時は学内のカフェテリア街に行くか、セブンイレブン、もしくはタクシーを使って外出する必要があること、タクシーやバンに乗らないと大学の外に出ることができないこと、寮のスタッフと英語での会話が難しいことなどでしょうか

私の場合は到着したのが夕方であり、他の寮を選ぶことがもうできないという状態で入寮する形となりました。契約は 1 年契約しかないと言われて 2 ヶ月分のデポジットとその月の寮費を現金で払いましたが、結果的に留学期間である 10 か月で退寮したのでデポジットである 8000Baht、24000 円は返金されず、後悔しました。ちなみに半年契約もできたそうです…

大体の寮が半年、一年契約なのでデポジットの返金を期待するのは難しいかもしれませんが探せば見つかる可能性もあるので日本にいる間に調べたり、メールで連絡を事前にとっておくことをおすすめします。ただタイの文化として実はその日に直接寮やアパートを訪れて部屋を決めるということが出来ます。最近のアパートメント(タイではコンドミニウムを略し condo と呼びます)は家具が全てそろっていることが多いので便利です。

総合的に判断して私の住んでいた寮はおすすめしません、多少値があがっても外の寮やバンコクに住むという選択肢をおすすめします！ちなみにバンコクなら on nut 駅、Udomsuk 駅からバンが片道 40B ほどで出ているので利用すると便利です。

4. 費用について

(1) 学 費

（現地通貨）約 _____、（日本円）約 116 万円(学習院大学に納める費用)

(2) 渡航方法と金額

飛行機 全て ANA マイレージを利用、現金ではバンコク往復で 10 万円ほど。LCC 利用で時期にもよりますが 3 万円程度に抑えることもできます。

(3) 生活費

（現地通貨）月額 約 15000-20000Baht、（日本円）約 5-7 万円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

クレジットカード／現金

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

まず私は渡航時に現金を 20 万円、約 7 万 Baht を持参しましたが空港での両替は最小限にとどめておくべきだったと思っています。羽田空港の銀行で両替をしましたがタイのほうが、レートがいいです。多少時間がかかっても空港外、大学の近くですと Mega Bangna というショッピングモールなどがあります。そちらで両替したほうがお得です。大体 7 万バーツがなくなったのが 2-3 ヶ月してからでしょうか、そのあとはクレジットカードのキャッシングで引き下ろして現金を手に入れていました。タイ、特にバンコクなら色々なところに ATM があるので手数料が 220 バーツほどかかってしまいますがすぐに現金を手に入れることができます。

留学前に必ずクレジットカード、いわゆる家族カードを手に入れておきましょう、自分の口座からの引き下ろしにすると現金化をすることが年齢・職業上不可能になるので家族カードを使った現金化ができるように日本で手筈を整えておくのがいいでしょう。

私の友人は渡航時に 100 万円を現金で持参したそうです。防犯上の危険は高まりますがそれでもいいかもしれません。クレジットカードも使えますがタイの多くの店(屋台やタクシー)などは現金のみの取り扱いです。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳
金額 20 万円

旅行費 7 万円のみ

5. 保険について

(1) 保険会社名

t@biho たびほ

(2) 保険料

152790 円(一時払い)

(3) 加入した保険の種類、内容

リスク細分型特定手続用海外旅行保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

結果的に使わなかったのでよくわかりません。

ただ、国際社会科学部の補償項目の基準を完全に満たしている保険は東南アジア圏の留学の場合、極端に値段が上がるようです。私が調べた時は一年の留学で 60 万円と非常に高額な金額でしたので、学部事務室と掛け合った結果、一部補償内容は上限金額の決まった保険を利用することにしました。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物のみ

(2) 持って行って良かったと思う物

Bluetooth スピーカー、タイ語用語集、小さいギター

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

DVD 読込機、お気に入りの CD、事前購入した SIM カード、服

(4) 持って行けば良かったと思う物

Go pro は日本で買ったほうが安かったので日本で買うべきでした。あともう少し大きいスーツケースで渡航するべきでした。帰りにお土産のスペースがなく、日本の服を相当捨てましたので妥協せず一番大きいスーツケースで渡航するのがいいです。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

ジムに足繁く通っていました。実は大学周辺は驚くほどなにもないです！寮とレストラン、屋台、あとは学生が飲む酒場しかありません。自然とやるのが少ないのでジムに通うひとが増えていきます。先にも書いたようにそれが私のバンコクに滞在することを勧める理由です。

近くに Rot fai Srinakarin というナイトマーケットがありますがそこに行くのも基本的にはタクシーになると思います。あとはタイでもかなり大きい Mega Bangna というショッピングモールが近くにあり、バンが出ていますのでそれを使ってショッピングなどでしょうか

ちなみにバンコクまで 1 時間ほどで向かうことができます。Mega Bangna までは毎日 1 時間に一本大学からバンが出ていて 40 分ほどで着きます。

(2) 週末

バンやバスを使ってパタヤやフアヒンに行き海でのんびり過ごしたり、北のチェンマイ、チェンライに行くのもいいでしょう。Airasia の飛行機はすぐに取りれて一時間ほどでほとんど全ての都市に行くことができるので非常におすすめです。価格も一番安いものなら 3000 円程度で訪れることができます。

私は週末、友人の家に行ったり、バンコクでのんびりすることが多かったです。残念ながら、住んでいるところがバンコクから遠かったのでバンやタクシーを利用することが多かったため交通費がかさみました。

8. 後輩へのアドバイス等

タイの社会、文化が合う、合わない人はいると思います。私と同じタイミングで交換留学生として一緒に来た日本人の友人は適応できず、前期の途中でひどく体調を崩し帰国してしまいました。これから留学に行かれる方はまず自分の体調を最優先に考えてください。体調が悪いなら無理して授業を出る必要はないし、グループワークや課題などをやる必要もありません。ゆっくり休んでください、それで単位を失ってもたかが 2、3 単位です。自身をいたわることが留学を無事終えるための最優先事項です。

もうひとつはタイの文化を経験してください。観光地を巡ったりその地のご飯を食べることや現地の人と話すことは必ず新しい感覚を与えてくれます。私の場合は市場でおばちゃんと話したり、スポーツの試合をみたりしながらタイ語や彼らの文化に触れる機会を得ていました。彼らの文化を学ぶことは必ず将来の自分のアドバンテージになります。

最後に自分の将来や目標について留学期間中に考えてください。意外かもしれませんが留学中は時間があります。その間に今まで考えることのできなかつた、自分の将来や目標を考える時間を十分に設けてください。それが自分の人生を豊かにすることにつながるし、そのためには何が必要かなど直結して考えることが出来ます。留学中の余韻はそのようなことを考える機会にぜひ充ててみてください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

留学は最終的に生き方や考え方に大きな影響を与えてくれました。ぜひタイに留学して一年間、タイ文化、社会のなかで生活してみてください。とても貴重な経験ができると保証します。